

クロサンショウウオの産卵調査等について

1 クロサンショウウオの産卵調査

(1)大沼における両生類調査

大沼展望台からタモでクロサンショウウオの卵のうを採取し、卵のうを調べましたが、卵が見られませんでした。



クロサンショウウオの卵囊

(2) 赤沼における産卵調査

クロサンショウウオの 500 対以上の卵のうを確認しました。



(3)狩場沼における産卵調査

クロサンショウウオの 200 対以上の卵のうを確認しました。



2 フナ食害、クロサンショウウオの天敵

大沼では何らかの生物が卵を食べた残骸がありました。君島塩原野生動物研究会長によると、昨年4月20日フナが卵のうに群がってつついているのを見たとの、ことからフナに食べられたものと思われます。

フナはバンガローからの栈橋上から確認できました。1998年、那須の大雨で大沼の葦原区の水かさが増し、大沼の葦原区に生息していなかったフナが大沼全体に広がりました。

そのことからフナが両生類の卵を餌に生息数を増やし、クロサンショウウオなどの両生類の生息を脅かしています。

平成20年4月2日 両生類の卵は無かった

3 4月上旬の大沼と富士山



大沼展望台から富士山の眺望



大沼の葦原区